

きらり



Citrus
 Ribbon
 PROJECT

☆第1回人権・同和教育ホームルーム活動



1年 より良い人間関係を作ろう

P T A 人権教育部の活動計画

竹林整備	年3回
西条市人権・同和教育講座(～12月)	5月
市内五高校人権・同和教育連絡協議会	6月
いじめ問題対策委員会	7月
体育大会販売	9月
きらり52号の発行	9月
小松高祭販売	10月
ウォークラリー大会補助	11月
人権・同和教育ホームルーム活動公開授業	11月
きらり53号の発行	2月



2年 差別はどのようにして作られたのか



3年 確かな進路保障のために

○『今、輝くために～同和教育から学んできたこと～』 《西条市人権・同和教育講座① 5月27日》
 ～西条市青少年育成センター所長・谷口 晃さん～

谷口先生が中学生の時、自宅の食卓で、自分の結婚について「誰と結婚してもいいだろう」と尋ねたら、母は無言でした。そのことを受けた自分自身も、その時無言でした。谷口先生は、今振り返ると二人とも無言の差別者だったと悔やんでおられました。



自分の子どもが被差別部落出身者と結婚することになった時、果たして自分はどうするのか、そのことを問われた講座でした。



○『子供の権利擁護～社会的養育の現状と課題～』

《西条市人権・同和教育講座② 7月26日》

～NPO法人ミライバリー相談室長・山内幸春さん～



子どもの権利条約やヤングケアラーなど、子どもを取り巻く環境に関する内容を中心に、社会福祉(子ども養育センター)の専門家としての立場でお話をいただきました。中でも、私が興味を持ったのは里親です。欧米諸国に比べ、日本は里親が極端に少なく、様々な事情により子どもを育てられない親がいることが分かりました。子どもたちの多くが施設で育っている事実を目の当たりにし、里親について深く考える機会となりました。何か協力できないことがないか、改めて考えていきたいと思ひます。

☆人権・同和教育講演会



ナースログのラブ・ユー・フォーエバー

講演会の感想

- 100人いれば100とおりの考えや特徴があるので、これを個性と捉えていきたいと思ひました。
- 「ラブ・ユー・フォーエバー」の絵本によつて、お母さんに恩返しをしたいという気持ちが強くなりました。お母さんから受けた愛。いつか自分に子供が授かた時、わが子に注いでいこうと思ひます。

☆人権紙芝居(清風会道前育成園)



恵子さんの思ひに触れました。

人権紙芝居の感想

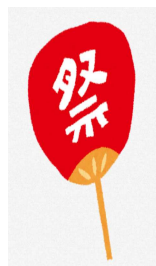
- 障がい者施設のことや生活支援の様子がよく分かりました。ノーマライゼーションという言葉には、とても素敵な意味が込められていました。
- 人権学習をとおして、少しでも多くの人と理解し合ひ、互いに支え合つていく環境を目指したいと思ひます。

☆いじめ問題対策委員会



手紙相談の取組について確認しました。

☆現地研修会(氷見交友会館)



長持ちする幸福について学びました。